

<戦略全体に関するもの>

- ・ 万博との連動も大変重要な視点であるが、万博開催後も見据えた視点も重要になる。現在の施策について、長期的にさらに改善しながら取り組むべき施策と、比較的短期間な施策について整理していくとともに、今後の実際の成果を確認しながら、有効な施策を絞り込んでいくことも必要。

<金融をテコに発展するグローバル都市>

(2)②スタートアップに対するさらなる投資促進に向けた支援

- ・ スタートアップ企業支援の一環として、大阪取引所では大阪IPOセンターを設置されており、様々なインフラが整いつつある。
- ・ 大阪に事業拠点を置く成功したスタートアップ企業にインタビューして、起業の観点から見た大阪の魅力、後進のスタートアップ企業のための望ましい支援策の内容等を聞き、施策に活かすことが有用。
- ・ NISAが大幅に拡張される見込みになっており、投資の裾野が広がる可能性がある。こうした機運をうまく受け止めて欲しい。従来から、法的には規制されていないものの、非公開株式を組み入れる公募投信は難しいとされているが、困難を乗り越える手立てを考えられないか。

(4)②長期的視点で資産を育てる投資マインドの醸成・金融リテラシー向上につながる取組み

- ・ 府内全体での取組みにしないとインパクトはない。中学校や高等学校のカリキュラムが変わったが、それに実質的な意味を持たせるような取組みが考えられないか。

アドバイザー意見概要

<金融のフロントランナー都市>

(1)③将来的に有望なグリーン関連のデリバティブ商品・市場の形成に向けた取組み

- ・ 金商法の対象となるデリバティブ商品の拡大についての働きかけは難しいと思うが、具体的な検討事項のピックアップ、国への働きかけを早期に行ってほしい。

(2)①脱炭素に向けた金融の取組み

- ・ 一般府民の参加を促すために、東京都や三重県のように個人向けのグリーンボンドあるいはソーシャルボンドを発行してはどうか。

(2)②企業におけるSDGs債の発行促進

- ・ ワークショップの開催等を通じたSDGs債の発行支援は、今後重要になる。

(2)③国際基準に準拠した認証ラベリング制度等の検討

- ・ 独自の認証ラベリングは国際基準が既にあるため、オリジナルなものは難しい。国際基準+ α で、大阪で発行したことのメリットを示すものが作成できるとよい。

(4)金融分野における高度人材の育成

- ・ 関西大学の取組みについて、今後、ここに掲載されている他のプログラムとの相互協力もできればよい。

<共通の取組み>

(1)①教育・医療等における環境整備

- ・ グローバル対応としての、多言語対応のホームページの開設を通じた情報発信の強化や国際金融に関するワンストップ窓口が創設されるなど、ユーザーフレンドリーな“仕掛け”が整いつつある。

(5)②金融リテラシーや金融知識を有する職員の育成>

- ・ 府・市において職域での金融経済教育を実践するモデルを構築し、その取組みを発信してはどうか。
- ・ 大阪府内の教員研修においても取り組めないか。